



上海ロックダウンの現状12

最終回

特別編29（無料公開動画）



収録日：2022年6月28日

1. 2022年6月29日（水）より、飲食店店内飲食再開

- 疫病管理成果を堅持し、秩序ある正常生活を回復するための我が市の全体計画（滬肺炎防控[2022]612号）
- 疫病管理成果を堅持し、秩序を以て経営・生産を再開するための実施計画（滬肺炎防控弁[2022]654号）

上海市政府は、6月29日より飲食店の店内飲食再開を認める通知を正式発表。
⇒ 3月17日よりレストラン店内飲食が禁止されていた為、3か月以上ぶり。

街道・鎮内に中リスク地域が無く、封鎖区域以外で1週間陽性者がいないことが条件。

2. 国務院が上海からの移動受入れの 規制緩和を指示（6月27日 The Daily NNA）

中国国務院（中央政府）は 24 日の会見で、
地方政府が新型コロナウイルスの流行防止を名目に過度な移動規制を行っていることを批判した。
多くの地方政府が直近まで新型コロナが流行していた上海市からの訪問者などに対し、
一律に厳格な隔離措置を実施していることについて是正を求めた。

3. 残された課題（当社6月22日メルマガ）

① 日本から中国本土（6月22日時点）

（1）日本郵便（EMS）

引受停止中（最新情報は下記URLで随時更新）。
小包郵便物も航空便、SAL便、船便も何れも引受停止中。

<https://www.post.japanpost.jp/int/information/overview.html>

（2）DHL

配達先エリアによるが、基本的には受付中（ただし遅延あり）
通常の配達日数に加えて、エリアによる配送日数調整があり、最短でも1週間程度はかかる。

<https://www.simplydhl.com/covid-19updates>

（3）SFインターナショナル（順豊速運）

一部エリア向けは受付停止中、それ以外のエリアでも
発送から約3週間はかかる（受付停止区域以外の荷物は引き受けている）。

<https://www.sf-international.com/jp/ja/announcement/detail/-01690/>

② 香港から中国本土（6月22日時点）

（1）香港郵政（SPEEDPOST、AIR、SURFACE）

広東省向けの陸送パケットと小包を除き、通常通り受付している（ただし、遅延の可能性あり）。

※広東省向けの陸送パケットと小包は受付停止中

（2）DHL

香港から上海向けが1週間～10日、北京向けの場合、約2週間は最低でも要する見込み

（いずれの場合も消毒作業が伴うため）。

（3）順豊速運（SF EXPRESS）

浙江省及び上海市への10キログラム以内の小包、書類の集配サービスを再開（6月21日より）。

ただし、中国政府の感染予防・管理方針に従い、到着後7～10日程度消毒処理があるため、

配達までには2週間程度要する。一部エリアへの配達は受付中止。

<DHL・順豊速運上海事務所ヒアリング結果>

上海では、上海到着から7日～10日程度は消毒に要している。

4. 日本の報道の問題

6月1日にロックダウン解除。

日本の報道（6月12日）で、再度上海でロックダウンが実施されるかのような誤解が生じる報道が多発。

⇒ 感染者10人程度（社会面感染者1～5人程度）で推移していた状況、
且つ、前週に、上海市政府が「再度のロックダウンは無い」と否定していた状況で、考えにくい。

6月11日（土）より、毎週末、全員PCR検査を義務付け、検査中はマンションを封鎖することになった（検査時間は1～2時間。終了後、速やかに封鎖は解除されている）。

⇒ 解除は短時間であり、報道時点では、既に問題がない事が分かっている状況で、それに対する断りが無い。

⇒ 6月10日に物資購入をする動きがあったが、映像のような混雑はごく一部（量販安売り店など）。
通常のスーパーは、通常より若干客が多い程度。

⇒ ロックダウン期間中（4月）の映像を織り交ぜ、現在の事象かとの錯覚を誘導する。

⇒ 6月12日後も、「再度ロックダウンか？」のテロップが流れ続ける（全く客観根拠なし）



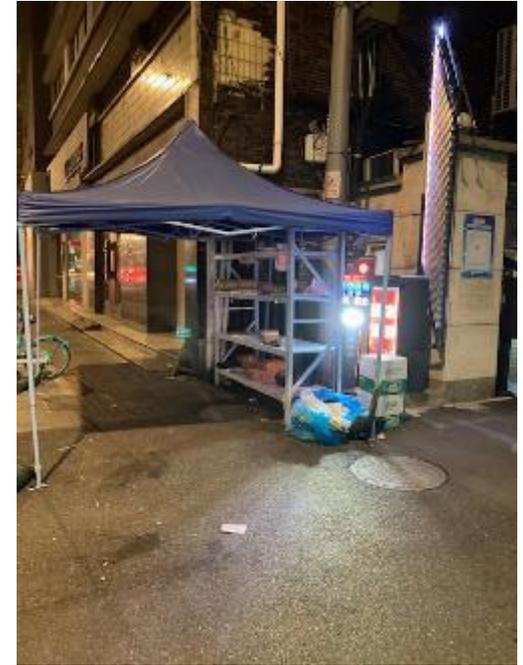
①常時の備蓄



②個別配達再開
(6月22日)



③個別配達再開
による棚撤去



④他のマンションの配達受領棚

⑤海産物配達

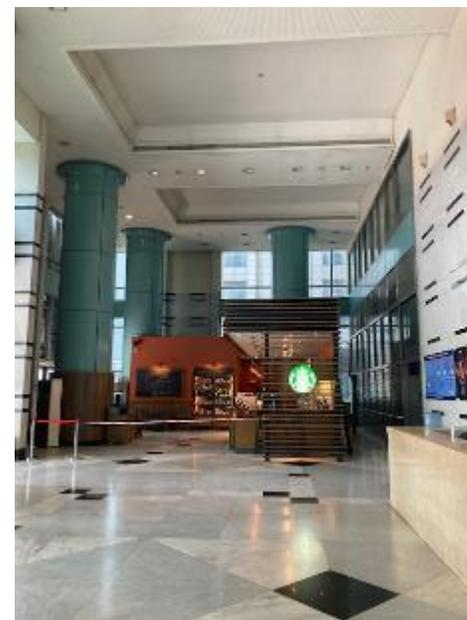


⑥上海散歩

⑦外高橋保税区



⑧外高橋スターバックス



⑨外高橋税務局



早稲田大学（ビジネス・ファイナンス研究センター）にて、以下の講演開催

講演タイトル 現場から見た上海市のロックダウン
～ロックダウンの報道と実態、経済への影響と対応について～

講演日時 2022年07月28日 19時00分～20時30分

講演内容

2022年3月28日～5月31日の2か月に渡り、上海市が都市封鎖された。
その間、必要最低限の維持機能を除き、社会活動が停止し、約2,500万人の市民の外部接触が禁止された。
期間中の状況は、日本でも多数報道されているが、その実態は、日本の報道とは異なる部分が多い。ロックダウンの実態、管理手法、回復へのステップ、会社経営や経済活動への影響、今後の経済に対する観測などを、現場を経験した立場から解説する。

申し込み

ZOOM形式のオンライン講義です（聴講料無料）

ご興味のある方は、是非、以下のURL（早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター）よりお申し込み下さい。

http://www.wjcf.net/content/announce_show/429